

平成 29 度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	都市形成論		担当教員	鶴田佳子		
学年学科	2 年次 先端融合開発専攻		後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(D-3 環境系 100%)		JABEE 基準 1 (1) : (d)			
<p>現代都市の成立過程および、それと密接に関わってきた都市計画の仕組みや問題点を理解することによって、各種建造物が都市の主要な構成要素として、都市空間の中でどのような社会的意味を持つかを理解し、建設技術者として必要な社会的視野を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。</p> <p>①現代都市が抱えている課題を理解する ②課題を解決するための考え方を理解する。 ③建設技術者としての立場から、都市課題を捉え、都市問題解決に向けて自ら思考する能力を身につける。</p>			<p>成績評価の方法： レポート 20 点程度＋期末試験 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。</p> <p>達成度評価の基準： なお成績評価の重みは、 ①現代都市課題とそれを解決するための考え方を 6 割以上の完成度でまとめることができる。 ③都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見を 6 割以上の完成度でまとめることができる。</p>			
<p>授業の進め方とアドバイス： 授業はワークショップ形式の討議とリフレクションに基づく講義によって行う。各ワークショップごとに事前に提示されたテーマについて調べ学習を行い講義に臨むこと。</p>						
<p>教科書および参考書：大西隆編著「人口減少時代の都市計画 まちづくりの制度と戦略」学芸出版社</p>						
授業の概要と予定：前期			教室外学修	AL のレベル		
第 1 回：	土地利用計画 -現状と課題-		土地利用計画に関する調べ学習	C		
第 2 回：	-ワークショップ形式による討議と発表-		リフレクションレポートの作成	A		
第 3 回：	" -リフレクションによるとりまとめ-		立地適正化計画について予習する。			
第 4 回：	都市計画マスタープラン(立地適正化計画)-概要-		立地適正化計画の具体事例の調べ学習	C		
第 5 回：	" -ワークショップ形式による討議と発表-		リフレクションレポートの作成	A		
第 6 回：	" -リフレクションによるとりまとめ-		公共施設適正配置・管理計画について予習する。			
第 7 回：	公共施設適正配置・管理計画 -現状と課題-		公共施設適正配置・管理計画の具体事例の調べ学習	C		
第 8 回：	" -ワークショップ形式による討議と発表-		リフレクションレポートの作成	A		
第 9 回：	" -リフレクションによるとりまとめ-		防災都市計画について予習する。			
第 10 回：	防災都市計画 -現状と課題		防災都市計画の具体事例の調べ学習	C		
第 11 回：	" -ワークショップ形式による討議と発表-		リフレクションレポートの作成	A		
第 12 回：	" -リフレクションによるとりまとめ-		都市計画における市民参加について予習する。			
第 13 回：	都市計画における市民参加-現状と課題-		都市計画における市民参加の具体事例の調べ学習	C		
第 14 回：	" -ワークショップ形式による討議と発表-		リフレクションレポートの作成	A		
期末試験						
第 15 回：	" -リフレクションによるとりまとめ-					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	都市課題とそれを解決するための考え方を 8 割以上の完成度でまとめることができる。	都市課題とそれを解決するための考え方を 6 割以上の完成度でまとめることができる。	都市問題とそれを解決するための考え方をまとめることができない。
②	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見を 8 割以上の完成度でまとめることができる	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見を 6 割以上の完成度でまとめることができる	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見をまとめることができない。